



令和7年4月号



ページ 1

金蛇水神社様よりマイクロバスを寄贈いただきました

ページ 2

巨理消防署の救急車が更新されました

ページ 3

緊急消防援助隊全国合同訓練について

ページ 4

仙南3地区救助隊員研修会について

ページ 5

合同救急シミュレーション訓練の実施について

ページ 6

マイナ救急について

あぶくま消防本部

警防課だより

【広報誌】

金蛇水神社様よりマイクロバスを寄贈いただきました



写真：金蛇水神社 宮司 高橋以都紀様(左) と 亶理地区行政事務組合 山田周伸管理者(右)

令和8年3月25日、亶理町中央公民館にて車両寄贈並びに感謝状贈呈式が執り行われました。

このマイクロバスは、最大25人乗車可能であり、災害発生時における人員輸送や各種行事等、幅広く活躍が見込まれる車両となっています。

金蛇水神社様のご期待に応えるべく、これからも住民が安全・安心を実感できるまちづくりを実現するために尽力してまいります。



亘理消防署の救急車が更新されました

令和7年12月22日、亘理消防署の救急車(亘理救急2号車)が更新されました。



この救急車は四輪駆動により操作性・走破性に優れた車両で、1分1秒を争う現場において搬送される方の負担を最小限に抑え、安全に医療機関へ搬送します。

また、あぶくま消防本部で3台目となる電動ストレッチャーを装備しており、安全性の向上、救急隊員の身体的負担の軽減を図っています。



緊急消防援助隊全国合同訓練について

令和8年11月14日から11月15日にかけて、第7回緊急消防援助隊全国合同訓練が宮城県石巻市をメイン会場として開催される予定です。

今回の訓練は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定し、こういった大規模災害に対応できるよう、緊急消防援助隊の技術向上及び連携活動の強化を図ることを目的として実施されます。



緊急消防援助隊 とは？

緊急消防援助隊は、平成7年の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、全国の消防による迅速かつ円滑な応援を目的として平成7年6月に創設されました。

あぶくま消防本部では救急隊や消防隊等が緊急消防援助隊に登録されています。

いつ、どこで起きるか分からない災害に備えて、隊員は訓練に励んでいます。



仙南3地区救助隊員研修会について

令和8年2月12日、ホテルテトラリゾート仙台岩沼にて仙南地域広域行政事務組合消防本部、名取市消防本部、あぶくま消防本部の3消防本部の救助隊員が集結し、研修会を実施しました。



この研修会は消防救助技術の向上と救助業務の一層の充実強化を図ることを目的に開催されており、今年で23回目の開催となります。

研修会を通じて、各消防本部の取り組みなど、様々な意見を交換し共有することが出来ました。

救助隊とは？

救助隊は「レスキュー隊」とも呼ばれ、**オレンジ色**の救助服を着ています。

救助隊は特別な救助器具を使い、閉じ込められている人、逃げ遅れている人を助けることが任務です。



合同救急シミュレーション訓練の実施について

令和8年3月10日、11日の2日間、岩沼消防署において、岩沼消防署、亶理消防署、山元分署の救急隊員が合同で救急シミュレーション訓練を実施しました。



この訓練は、救急救命士生涯教育年間計画に基づき、救急隊員の技術向上を目的として毎年実施しています。



救急件数は年々増加傾向であり、令和7年のあぶくま消防本部管内における救急件数は5,243件となっています。これらの救急現場に対応すべく、救急隊員は日々、鍛錬を怠ることはありません。

あなたの命を守る マイナ救急



マイナ保険証を携行しましょう

マイナ救急

救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証として利用登録したマイナンバーカード）を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みのことです。

★マイナンバーカードを見せるだけで以下の情報が伝わります


 あなたの
病歴


 お薬の
処方歴


 病院の
受診歴

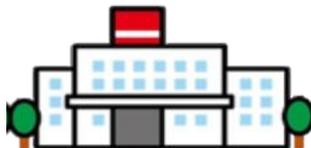
マイナ救急の効果



負担軽減
 症状が重い等のため、口頭で情報提供することが困難な場合



より適切な処置
 円滑な搬送先の選定



治療の事前準備が可能

マイナ救急の流れ



マイナ保険証を搭載したスマートフォンでもマイナ救急が実施できます

※傷病者本人による生体認証又は暗証番号の入力が必要となるため、意識不明時等は実施できませんのでカードのマイナ保険証の携行も引き続き、お願いします



あぶくま消防本部

お問い合わせ あぶくま消防本部警防課 TEL：0223-22-5194